

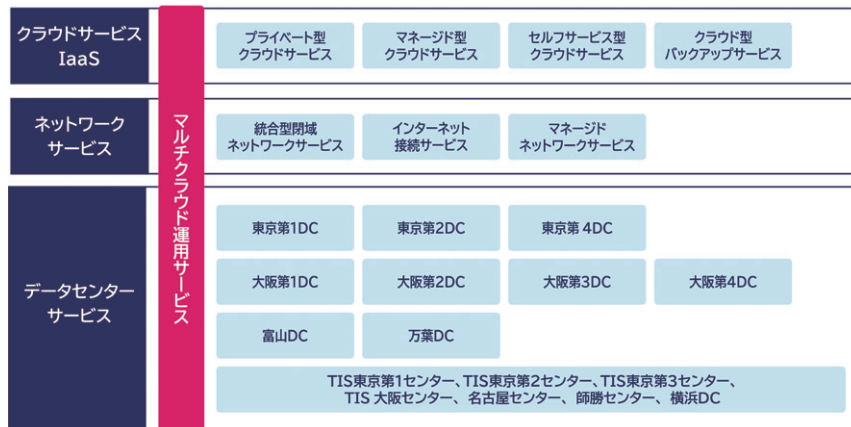
Products

グループのプラットフォーム事業を「EINS WAVE (アインスウェーブ)」ブランドに統合

インテックとTISは、2019年11月1日、プラットフォーム事業のビジネス強化を目的に、両社の自社クラウドサービス、ネットワークサービスおよびデータセンターサービスを「EINS WAVE (アインスウェーブ)」ブランドに統合しました。今後はグループ全体のサービスをわかりやすく、最適なかたちでお客さまにご提案できるよう、ブランディングやプロモーション活動をインテック、TIS共同で推進していきます。なお、サービスの運営は引き続き各社にて実施します。

「EINS WAVE」は、いつでも、どこでも、誰もが、自由にコンピュータの恩恵を受けられる社会の実現を目指し、その理想をカタチにしたソリューション群です。データセンター、ネットワーク、クラウド環境はもちろん、その運用までをワンストップでご提供し、お客さまのビジネス変革に貢献してまいります。

EINS WAVE サービスマップ



お問い合わせ先

ネットワーク&アウトソーシング事業本部
事業推進部
<https://www.einswave.jp/>
TEL : 045-451-2398
E-mail : net_info@intec.co.jp



Products

テレワークを後押しする月額利用型の「マネージド型仮想デスクトップサービス」を提供開始

インテックは、月額利用型の「マネージド型仮想デスクトップサービス」を2020年1月より提供開始しました。

仮想デスクトップサービス (DaaS : Desktop as a Service) は、自宅PC、スマートフォン、タブレットなどさまざまなデバイスから時間や場所に縛られず、同じデスクトップ環境にリモートアクセスできるサービスです。データをローカルに保持せずセキュリティが確保されることから、働き方改革の一環であるテレワークを推進する技術として注目されています。通常、導入には時間とコストがかかりますが、「マネージド型仮想デスクトップサービス」はクラウドサービスのため、サーバ購入等の初期投資は不要であり、利用者数に応じた月額固定料金ですぐに利用開始できます。煩雑なWindowsアップデート

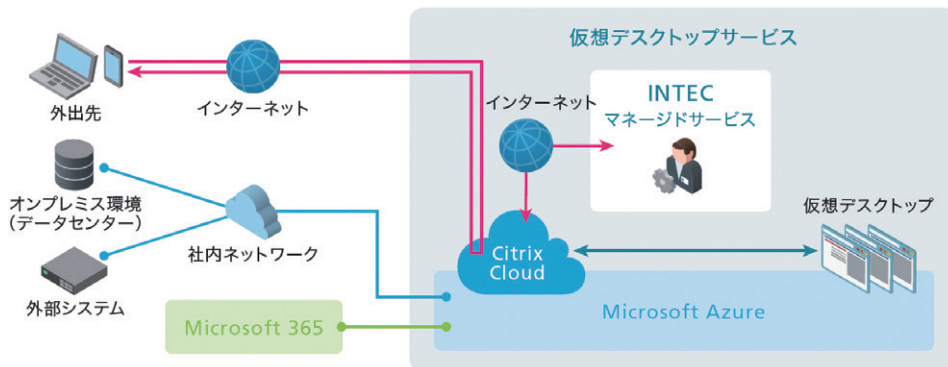
トや、安定稼働のための運用・監視はインテックが請け負うため、管理者の運用負担を軽減します。また、インテックの統合ログ管理ソフトウェア「LogRevi」と組み合わせることで、仮想デスクトップサービスの稼働状況を取得し、ユーザ利用状況を把握することも可能です。

インテックは、お客さまの要件に合わせてカスタマイズ可能な、オーダーメイド型の仮想デスクトップサービスの提供も予定

しており、今後もサービスの拡充に努めてまいります。

お問い合わせ先

ネットワーク&アウトソーシング事業本部
事業推進部
TEL : 045-451-2398
E-mail : net_info@intec.co.jp



※「マネージド型仮想デスクトップサービス」は、日本マイクロソフト株式会社のクラウドプラットフォーム「Microsoft Azure」、シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社の仮想デスクトッププラットフォーム「Citrix Cloud」を採用しています

次世代の金融システム人材の育成を目的とした「IT・ビジネス研修」を提供開始

インテックは、次世代の金融システムの開発・保守を担う人材育成を目的としたエンタープライズ向け研修サービスとして、「IT・ビジネス研修」の提供を開始しました。

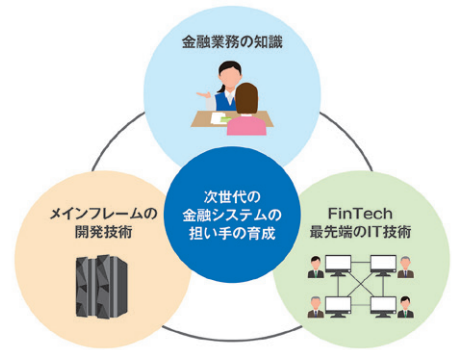
現在、FinTechの代表技術として注目を浴びているブロックチェーンを学習するコース、基幹系システムの開発・保守で利用されているPL/I・COBOLを学習するコース、金融システム開発に必要な業務知識とシステムとの関係性を学習する金融業務コースの3つを開講しています。これまでにブロックチェーンコースは3社、PL/I

コースは1社のお客さまに受講いただきました。今後も、研修コースは順次追加していく予定です。

インテックは、長年の金融システム開発で培ったノウハウを生かし、最新技術を活用できるデジタル人材の育成、および基幹システムの安定稼働に貢献できる人材の育成に努めてまいります。

お問い合わせ先

第一金融ソリューション事業本部
金融事業企画部
TEL : 03-5665-5166
E-mail : training_fsd1@intec.co.jp



「地域農業情報活用支援システム」全国の地域農業再生協議会の6割で採用

インテックは、1990年代後半より国から委託を受け、全国の地域農業再生協議会の業務をシステム化しています。全国の協議会のご意見・ご要望を取り入れた「地域農業情報活用支援システム」は、協議会が担う各種補助金申請の事務処理を正確に遂行できるようサポートし、さらに水田台帳として情報管理の役割も果たしています。

2018年度から従来のDVD版に代わり、

クラウド版の提供を開始しました。これに伴い、制度改正のたびに行っていたシステムのインストールが不要となり、常に最新のシステムを利用できるようになりました。

クラウドの接続プランとしては、J-LIS（地方公共団体情報システム機構）が運営するLGWAN（総合行政ネットワーク）も選択できるため、導入する協議会も増え、2019年度の全国シェアは6割を超えました。

インテックは、国や自治体の政策動向を注視しながら、今後もシステムの拡充を図ってまいります。

お問い合わせ先

公共ソリューション営業部
TEL : 03-5665-5131
E-mail : agri-support-uketsuke@intec.co.jp

視覚障がい者の身の回り品管理をサポートするアプリ「これなにメモ」を提供開始

インテックは、視覚障がい者が身の回り品を管理することをサポートするiPhone用アプリ「これなにメモ」の無料提供を開始しました。「これなにメモ」は、視覚障がいのあるインテックの技術者が、自身の使いやすさを基準に企画・開発を行いました。

視覚障がい者は、形の似ているものを手触りだけで区別することができません。「これなにメモ」は、画像処理と音声読み上げ技術によって、それが何であるかを教えてくれます。たとえば、財布の中の大量のカードについて、カードの写真と情報をあらかじめ「これなにメモ」に登録しておけば、iPhoneのカメラでカードを写すと「○○カード」と読み上げてくれるので、必要なカードを選ぶことができます。

「これなにメモ」は、視覚障がい者がご自身で撮影できるように、2種類の効果音でガイドします。撮影は何もない机の上などで

行うことを想定していますが、机を写すと低いゆっくりとした効果音、カードやCDなど、ものを写すと高く速い効果音が出るため、高く速い効果音を合図に撮影します。また、区別したいものをカメラで写す際には、登録した画像の一部でも写っていれば認識できるため、ピンポイントで狙う必要がありません。すべての操作は、iPhone付属の「ボイスオーバー」(画面の文字列を読み上げる機能)に対応しています。

インテックは、今後も「これなにメモ」利用者からの声を収集してアプリの改良を続けるとともに、アクセシビリティやバリアフリーを考慮したサービスの提供を行ってまいります。

視覚障がい者の抱える課題：形の似ているものの区別がつかない



お問い合わせ先

先端技術研究所
TEL : 076-444-8012
E-Mail : korenanimemo_support@intec.co.jp

「第34回世界トランポリン競技選手権大会」にオフィシャルスポンサーとして協賛

男女トランポリン日本代表のオフィシャルトップスポンサーであるインテックは、2019年11月28日(木)～12月1日(日)に東京都江東区・有明体操競技場で開催された「第34回世界トランポリン競技選手権大会」に協賛しました。

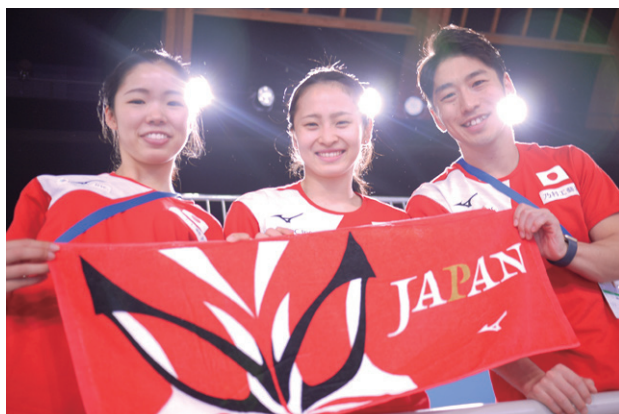
「第34回世界トランポリン競技選手権大会」は、1984年の大阪開催以来、35年ぶりに日本で開催された世界選手権です。個人、シンクロナイズド、タンブリング、ダ

ブルミニトランポリンの4種目と団体戦が行われ、日本代表選手はシンクロナイズドで男女共に金メダル、女子団体が金メダル、女子個人で金、銀メダルを獲得する活躍を見せてくれました。

12月1日には当社の福利厚生活動として、社員および家族のために同大会の観戦ツアーを行いました。有明体操競技場は、2020年東京オリンピックでトランポリン・体操・新体操競技が行われることが決

定しています。ツアーに参加した社員は、競技はもちろん、普段入ることができない競技場のバックヤード見学などを楽しみました。

インテックは、トランポリン競技の普及に貢献するとともに、選手の皆さまを応援していきます。



日本代表選手(左: 宇山芽紅選手、中央: 岸彩乃選手、右: 上山容弘選手)



女子個人表彰式(左: 土井畑知里選手、中央: 森ひかる選手)



日本代表選手(左: 堺亮介選手、右: 田崎勝史選手)



「世界トランポリン」ポスター

Management

東京地区新オフィスの開設と東京本社ビル移転

インテックは、2021年にTISと共同で、東京都江東区に建設中の「豊洲ベイサイドクロスタワー」に新オフィスを開設します。これにともない、東京本社ビルの入居部門を豊洲と西新宿オフィスへ移転します。

インテックは、新拠点の開設を機に「ABW(Activity Based Working: 時間と場所を自由に選択できる働き方)」を導入し、さらなる働き方改革を推進します。

東京地区のTIS・インテックのオフィスを豊洲と西新宿に集約することで、グループ間のコミュニケーションを促進し、グループシナジーの強化、構造転換の加速、およびグループガバナンスの強化を図ります。



豊洲ベイサイドクロスタワー外観イメージ